

ピアホームだより

2016. 9. 10

夏 2 題

板橋花火大会—8 月第 1 土曜日

この仕事を初めて、地域の行事に関心を向けることになり、板橋花火大会は大きな取り組み行事の一つになっていました。

ホームは重い症状を抱えた方や、様々な事情を背負って花火など縁遠かった方がいて、素直に感動できる貴重なイベントです。

4年前から、障がい者席で間近に花火見物ができ、夏の夜の風物を満喫できました。しかし、その後は、参加する方も減って(場所が遠くて疲れてしまう)中止してしまいました。

板橋の花火の日、街の空気は特別なものがあります。その雰囲気が伝わってきて、家でうじうじしているのも何かつまらなく、去年は、近くの公園の小高い場所から見物できる場所を見つけました。

ということで、今年はピアホーム I の皆さん3

人でその公園で花火見物と相成りました。

ところが、私の用事が長引きスタートが遅れてしまったところ、Fさんが深い眠りに入り、終わり頃に電話がかかる。でも、彼はこれまで花火は堪能していますのでとりあえずキャンセル。残ったUさんKさんは改まっての見物は初めてとのことで、少しは夏気分を楽しめたようです。

地域のイベントを素直に楽しめることも地域社会に馴染んできていることですね。

久しぶりのホーム小旅行—お盆に

精神病の皆さんは、何か目的をもって集団でひとつの行動をとるといことが苦手のようです。何か行事を決めても、たいていの場合当日欠席が出ます。人と長時間関わって過ごすのが気疲れするのでしょうか？

ホームでも、メンバーの組み合わせにより、行事が盛んになったり、成立しなかったりしています。前述しましたように、一昨年は、板橋花火見物も一人になり、昨年とりやめました。

このところ、メンバー間の交流もみられ、メンバーからの声もあがったので、久しぶりのホーム小旅行を企画しました。しかし、やはり、近日になって不参加が出て、一これは織り込み済み？と決行することにいたしました。

行き先を相談—夏の行事なので、涼しいところ—滝か洞窟と決めネット検索、滝までは距離が遠く時間的にきつい、洞窟を探るとこれが意外と多い。日本は石灰岩の多い国、いたるところに鍾乳洞がありました。その中から、手ごろな距離のあきる野市に3個の鍾乳洞を見つけ、観光に向いていそうな大岳鍾乳洞を目指しました。

出発—結局参加は2名、2人とも飲水が多く、途中のおトイレが気になる場所でした。高速に入って暫くして、思わぬ事故渋滞！これはまずい！一応、尿パットも準備していましたが、何とか切り抜けられました。お昼は、予め探しておいた丸亀釜揚げうどん、料金が手ごろで、障がい者にやさしいお店です。

鍾乳洞は約300mでしたが、狭く低い所が多く、アップダウンもあり、かなり、ハードなものでした。死にそうになった！一満更、大げさな感想でもない。でも楽しかった！一人でなく、皆で行動することが人の心を揺さぶります。

考える前に跳べ！（懐かしい言葉が浮かびました）

今月の予定

<9月27日>板橋グループホーム連絡会